



文責 本宮小校長 佐久間仁

内派遣交流事業

報告会II



【参加児童の発表（概要）】

富良野市に行つて学んだことと交流を通して感じたこと

六年 三瓶 虹心

まず、富良野市に行つて学んだ富良野市の魅力です。それは、春、夏、秋、冬の季節によつてのイベントがあることと、その季節の様子を楽しむことができることです。

また、気温が夏三十五度、冬マイナス二十五度とその差が大きいことも富良野市の魅力の一つです。

次に、交流を通して感じたことです。私が感じたことは、本宮市も富良野市も、それぞれ自慢したいところや魅力がたくさんあるということです。なぜそう感じたかというところ、扇山小学校の人たちに

富良野市の魅力をクイズにしてほしいと言ったら、すぐに思い付いて出してくれたからです。そして、本宮市のみんなも一人一つ魅力クイズを考えていて、どちらの市も魅力あふれる市だと感じました。同じへそのまちとして交流できるととても嬉しかったです。そして、これからは、この三日間で学んだことを学校生活などで生かしていきたいと思いました。

富良野市に行つて学んだこと

六年 伊藤友里香



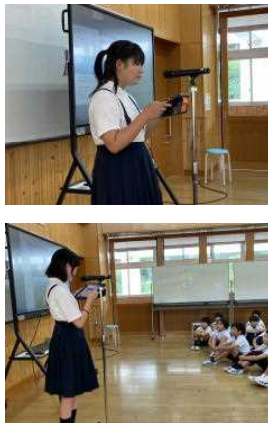
私が富良野市に行き、交流を通して学んできたことは、他校の人や扇山小学校の人たちと協力して楽しく活動できたことです。部屋の人たちや活動班のみんなとすぐ仲良くなれたし、扇山小学校の人たちとも昼食を食べて、本宮市の魅力クイズを出して交流していく中で、仲良くなれました。とても楽しかったです。

そして、私が一番印象に残ったのはラフティングです。ラフティングは、最初に講習を受けた後、富良野市の空知川で行いました。

流れが速かったり、ゆっくりしていたり、いろんなところがあつてやる前は少し怖かったけど、ラフティングの班のみんなと協力してこいだので、とても楽しかったです。

す。富良野市の自然をととても満喫できた時間でした。

三日間とても楽しかったし、学んできたこともたくさんありました。富良野市に行つて学んだことを、これからも日常生活や学校生活に生かしていきたいです。



※お互いの良さを知り、困ったときは励まし合い、助け合うことが大切だと感じました。今回の体験を通して学んだことを、これからの生活に生かしていきたいでしょう。

創立記念日



九月九日は本宮小学校ができて百五十一年目の創立記念日でした。昨年度は百五十年の節目ということで、創立記念式を行ったり、記

念誌を作ったりしました。今回は、本宮小学校の第三校庭に建っている「こころの山脈」愛の鐘の塔にまつわるお話をしました。

《校長の話》《抜粋》

映画「こころの山脈」は、愛の鐘の碑文にあるように、今から約六十年ほど前に本宮市を舞台に制作された映画で、本宮の人々も多数出演し、町を挙げて映画制作に協力しました。（中略）子どもの可能性を信じて、一人一人を大切にしようとする本間先生と、乱暴者だけど純粋な心をもつ清との心の交流は、六十年の時を経た今でも、決して色褪せることのない、見る人の心を温めてくれるものでした。

校長先生は、この映画から、どんな辛いことがあつても、夢をもつてあきらめなければ、夢は必ず叶うことを教えてもらったような気がします。・・・これからも、人を思いやる、やさしい心を大切にしていきたいでしょう。今日、創立百五十一年目を迎えた、本宮小の歴史と伝統を大切に守りながら、みんなの心をつなげて新たな歴史の一ページを作っていきます。

《御礼》資源回収・奉仕作業では多数の皆様にご参加いただきました。お陰様で校舎内外が見違えるように綺麗になりました。心より感謝致します。